

川上社長 年頭挨拶

明けましておめでとうございます。4年振りの新年会です。

今日は、皆さんに大成運輸の全員ではないですが、多くの方に集まっていただき、皆さんは一人ではなく、多くの仲間と共に働いていることを感じて頂きたい、この会を開催しました。

今年は元日に能登半島地震が発生し、70名以上の方が亡くなり、2日には羽田空港滑走路内での接触事故により5名の方が亡くなるという、大変な年の初めとなりました。

能登半島地震では既に政府をはじめ、国をあげて救援が始まっているようで、被災者の方々は多くの仲間の存在を感じている事と思います。

また羽田空港の接触事故では、単一の事故で約2万人に影響が出ており、今日も事故の起こった滑走路は閉鎖されていると報道され、事故の影響の大きさに驚いています。

しかしそうした事故が発生したときに、日頃の危機管理が生きてくるのでしょうか、滑走路の事故では、燃える機体の中で冷静な乗務員の判断による避難誘導が行われ、乗客全員の命が救われたことにはさらに驚きを感じました。

我々運送会社でも一旦事故となれば、少なからず誰かに迷惑が掛かることを想像すると、とても他人事のように思えず、普段の教育が欠かせないことを実感する出来事でした。事故で渋滞、通行止めに会うとイライラしてしまいますが、その原因を自分達で作らないようにしなければなりませんね。

さて、当社では現在、高速道での社内速度超過者を指導していますが、この指導を始めてからというもの、大きな事故が減り成果が確実に上がってきています。

今年4月からは高速での大型車最高速度が90kmになるとの事ですが、当社では今の成果を失わないように、引き続き、変わらぬ最高速度指導を行っていきます。

また、社内速度超過で賞罰会議の決定を受け、処罰を受けるようであれば、自ら事故発生リスクを高めているとの判断で、

その方は、来年は、この後行われるセーフティー表彰の対象からは、外すことにします。大変な努力し運転してくれていることに対し表彰する、特別な賞でありたいと思うからです。

次に、私はよく社外の方から「大成運輸を見ない日はないね。」といわれます。

皆さんはそれほどの意識が無いかもしれませんが、大成運輸のトラックを知っている方は、皆さんの事をよく見ているようです、皆さんの運転中の様子が 大成運輸そのもので、

粗っぽい会社なのか、ルールを守る真摯な会社か、見られていることを忘れないでください世間での評判は皆さんを見て作られていくのだと思いますよ。

仕事を頼みたい会社か、社員になりたい会社か、トラックに乗るなら、大成運輸で乗務したいと思われるように、行動して行きましょう。

そのような中、当社の現在の姿ですが

社員数 256名

車両台数230台 全国約6万3千社の中で200台以上保有している事業者約400社
(0.6%)の中にある事業者で

社員平均年齢は48.4歳で 業界平均49.2歳(九州地区50歳)に比べると、1.5歳程度若い会社ということになります。

売上は 3月決算月より、11月迄の8か月、で
総売上 約25億8千万(月平均3億2千3百万 昨年比104.6%)

そのうち運送だけで稼いだ金額は、
約24億7千万(月平均3億9百万 昨年比102.6%)
残りの1億1千万を土地を貸したり倉庫の営業で稼いでいます。

以上のように売上は、固定のお客が多いことで堅調に伸びており、ダイハツ工業の工場停止のような事態になっても、全体では大きな影響は出ない状況にあります。

業界的には2024年問題が大きく報道され、働ける時間がさらに減ってくるように言われていますが、当社ではこれまでも労働時間短縮には注力を注いできており、皆さんには大きな影響が出ない状況だとは思いますが、残念ながら影響がゼロとはいかないと思います。

利益は燃料価格で大きく左右されますが、速度抑制等や皆さんの小さな努力の積み重ねで経費削減が出来ており運営に必要な利益は確保できています。

そこで来年の事業運営についてですが

運送だけでは、これからも燃料価格や高速道路の割引率等、当社でコントロール出来ない要因が多く、影響が大きいので倉庫建設に力を入れて行きます。

直近では、本社近くの長井鶴に、約 4,600 坪の敷地を昨年購入しましたので、そこに 2,700 坪規模の平屋の営業倉庫を今年建設します。

続いて、昨年約 5,400 坪を行橋に購入し、移転した行橋営業所に約 1,500 坪程度の、これも平屋になりますが倉庫を新設する予定で、既存宮田倉庫と本社倉庫を合わせると 6,000 坪の倉庫を運営することになります。

また、運送では兵庫県に営業拠点を設け、関東方面への積み替え輸送も計画しており、4 月には開業できるように現在準備を進めています。

それと、昨年末の 12 月 8 日に大分県由布市に「オアシス」というホームセンターを傘下に入れました。

社員 20 名程度で、農業機械販売に強く、通販や不動産事業も行っており、特に近くに大手ディスカウントストアが運営する飲料工場があり、この地に大型の倉庫を建設したいとの思いで、その足掛かりに、このホームセンターを土地ごと購入しております。

このように、今年は大成運輸の足元を固く強くするために事業を行い、皆さんが長く安全安心に勤められる会社となるように進んでいきます。

そうした中で、皆さんにおいては、まだまだ防げるはずの事故が多く、去年は労働災害事故が 6 件起こり、内、3 件は長期にわたり仕事を休む事態になっております。

冒頭でも言いましたが、事故を起こせば自分だけの問題では済みません。影響を受ける方は複数に上り、一生を左右する行事に行けなかったり、精神的に障害が残ることもあります。

我々は運送を通して社会貢献することで、生活させて頂き、感謝もされます。

しかし一方では、多くの方へ影響を与える仕事をしていることを忘れてはいけません。

そのことを強く意識して、ドライバーそしてそれを支える整備や事務が一体となり、今年も頑張って行きましょう。